



愛鷹山地の絶景を是非ご体感ください！

黒岳山頂の日の出

位牌岳のトリカブト

池の平展望公園

位牌岳頂上からの長窪地区

ジンジソウ

冬化粧の愛鷹山脈

紅葉の鋸岳

Ashitakayama

富士市 ▲位牌岳 裾野市



長泉町ふるさとカルタより

幻の滝
滝と呼ばれし
つるべ落としの滝

●長泉町標高最高地点
苔庭の谷●

●倒木の森

沼津市

長泉町

UNESCO
の
滝

●大杉

●イワタバコ群生地

●板状節理

●千じょう岩

●池の平展望公園

●竜のウロコ●

●愛鷹山水神社

●長泉森林公園



リンドウ

登山者のランドマーク
「五輪の塔」

標高約930mの山中にあるこの不思議な「五輪の塔」。言い伝えでは、「かつて裏街道だったこの地で、遭難死した身分の高い上臈(婦人)」を悼み、墓と五輪の塔が建立されたとあります。墓は自然災害によって流失してしまい、現在は「五輪の塔」だけが残っています。

一説によると、武田信玄が駿河の国を攻めていた際、信玄に差し入れをと現在の富士市中里村からこの女性が登って来て遭難したという説もあるようです。

今では愛鷹山登山者のランドマーク、またはパワースポットとして親しまれています。



冬の五輪の塔

池の平のへび伝説

(参考資料: 裾野・長泉の伝説)

昔、元長窪に村があり、谷あいには大きな池がありました。日照りが続いても池の水は涸れることなく、村人は祠を建て神さまを祀っていました。その祠に一匹の蛇が住み着いたところ、村は豊作になり、病気も減りました。蛇を池の神さまのお使いとして感謝していました。

ある日、村の木こりが蛇に噛みつかれ、怒った彼は蛇を斬りつけてしまいます。すると突然黒雲が押し寄せ、雷が鳴り響き、池の水が真っ赤に染まりました。村人が様子を見に来ると池は枯れており、木こりも見当たりません。後日木こりそっくりの石が見つかり、祟を恐れた村人は全員村を去ってしまいました。のちに人々はこの池のあたりを「池の平」と呼ぶようになったといえます。



現在の池の平の湿地

長泉最強のパワースポット
「愛鷹山水神社」

(俗称: すいじんさん)

桃沢川の源流にあり、龍神をまつる神社。明治36年に建立し、山奥にありながら、海洋渡航者や漁師などから水難の守護として信仰を集めています。

源流から流れる水は、静岡県の水100選にも選ばれており、汲み持ち帰る事ができます。



愛鷹山水神社



▲幻の滝



つるべ落としの滝



ミヤマカラスアゲハ



ヤマハリソウ



竜のウロコ(板状節理)

※上記マップには、登山道の記載はありません。
※長泉町の愛鷹山ハイキングに関しては、「ハイキングガイドながいずみ」(長泉町産業振興課発行)をご参照ください。
※長泉ふるさとカルタを説明する「カルタ君」は、ながいずみ観光交流協会のホームページでご覧になれます。



イワタバコの花

イワタバコとカルタ君

紫と赤のツツジの競演

険しい山道

トウゴクミツバツツジ

長泉町標高最高地点

険しい山道に忽然と現れる癒やしの空間



つるべ落としの滝